

#### 1) 研究課題名

胞状奇胎絨毛における新生血管の病理診断学的意義に関する研究

#### 2) 研究の目的と意義

従来、水腫様変化、栄養膜細胞の増殖、間質中の血管の欠如といった組織像が胞状奇胎の診断に重要な所見とされてきました。しかし、超音波検査の普及に伴い、胞状奇胎症例が、初期の段階で見つかるようになってきました。すると、従来の組織学的指標が当てはまらず、むしろ未熟な血管の増加や、細胞密度の増加などが特徴的な組織所見であることが分かってきました。今回われわれは、こうした初期の胞状奇胎症例における血管密度と新生血管密度を計測し、ほぼ同じ週数の流産検体と比較してみることにしました。血管密度、新生血管密度の違いが、初期胞状奇胎診断の指標となり得るか検討することがこの研究の目的です。

#### 3) 研究の方法

検討に用いる胞状奇胎例約 25 例、流産症例約 25 例のパラフィンブロックは国家公務員共済組合連合会名城病院において病理診断に用いたホルマリン固定ブロックを使用します。ブロックから切片を薄切し、HE 染色および免疫組織化学染色 (CD34, CD31, CD105) を施行し、顕微鏡像をデジタル顕微鏡撮影装置で取得し、血管および新生血管密度を形態計測的に計測します。胞状奇胎群と流産群について計測値を統計学的に比較検討します。

#### 4) 倫理的配慮

研究に用いる材料からは、顕微鏡観察で得た形態学的情報のみを取得し、遺伝子情報などは検索しません。症例の識別に氏名は用いず、新たに付した検体番号のみを使用し、第三者による個人の特定ができないように配慮します。臨床所見、病理情報も匿名化されたデータとして扱います。

#### 5) 研究機関

名古屋大学医学部保健学科

#### 6) 苦情等の連絡先

名古屋大学医学部保健学科庶務掛

電話番号：052-719-1504

名古屋大学医学部保健学科検査技術科学専攻病因・病態検査学講座

長坂徹郎

住所：名古屋市東区大幸南一丁目 1 番 22 号

電話番号：052-719-3152, FAX:052-719-3152